



第10回 子育てサイエンス・カフェ

少子化、無子化は

私たちの社会や経済をどのように変えるのか。

講師：家政学部家政経済学科 教授 伊ヶ崎 大理

少子高齢化が急速に進行すれば、私たちの社会の制度も様々な形で再設計する必要に迫られます。もちろん子供を産むか否かは、個人の決定が尊重されなければなりません。その一方で、個人が意思決定する際には様々な制約をもとに考えていること（例えば、同じような選好を持つ人でも子どもを産みにくい社会に住んでいるか、産みやすい社会に住んでいるかで子供を何人持つかは変わってくるでしょう）、個人個人の意思決定の結果が全体の動きに影響を与え、それがまた個人の暮らしにフィードバックされていくことなど、社会全体で考えていかなければいけない問題が多くあります。今回は、報告者の比較的新しい研究成果も紹介しながら、上記の問題について考えてみたいと思います。

2022年

日時

11月15日（火）

12:40～13:10

申込み

以下のURLもしくはQRコードから



開催

- 対面（本学学生のみ）
目白キャンパス
百年館4階 マルチメディア室1
- Zoom（一般参加者）

<https://forms.office.com/r/srudS7eta6>

- お申込み受け付け後、詳細情報をメールにてお送りいたします。
- 新型コロナウイルスの影響によりZoom開催のみに変更の場合がございます。